

20. 学士特定課題プロジェクト履修案内

1. 学士特定課題プロジェクトの目的

学士特定課題研究を終えた後、学士特定課題研究をさらに深める、修士論文研究の準備を開始する、或いは学士特定課題研究を実施した研究室とは別の研究室で新たな学士特定課題研究を行う等の方法で研究を深化させ、学修の幅を広げることを目的とする授業科目です。

2. 学士特定課題プロジェクトの概要

- ・学士特定課題研究終了から卒業までに半年以上期間がある場合に履修（半年単位）し、学士特定課題研究を実施した研究室で受講します。

（学士特定課題研究を実施した研究室以外で研究指導等を受ける場合であっても、原則として、学士特定課題研究を実施した研究室に所属することとなります。ただし、研究内容等に応じて研究室が変わる場合もあります。）

3. 学士特定課題プロジェクトの履修と大学院修士課程進学後の学修について

前学期に学士特定課題研究を終えた後、後学期は学士特定課題プロジェクトとして修士論文研究の準備を開始することにより、早い段階から専門性を高め、修士課程進学後により深く修士論文研究を遂行することができたり、また、後学期から修士課程の準備を始めることで修士課程進学後に余裕が生まれ、修士課程2年間の間に長期の留学やインターンシップを実施し易くなります。

（注意）

※学士特定課題プロジェクトは研究期間等によって、1単位～6単位に設定されますので、しっかり計画を立てて履修する必要があります。

※複数の「学士特定課題プロジェクト」を履修する場合も有り得ます。3単位の「学士特定課題プロジェクト」を履修・修得した後、別な内容の2単位の「学士特定課題プロジェクト」を履修するなど。ただし、卒業要件に算入できる「学士特定課題プロジェクト」の修得単位数の上限は6単位です。

※学士特定課題研究終了から卒業までに半年以上期間がある場合には、「学士特定課題プロジェクト」の履修ほか、留学やインターンシップを行うこともできます。